



激動する

世界の水業界地図

グローバルウォータ・ジャパン代表 吉村 和就

はじめに

昨年末、世界中を駆け巡った水業界の最大ニュース、それは世界水メジャーのトップ・ヴェオリア社による、世界第2の同業者スエズ社に対する敵対買収であった。仮に敵対買収が成功すると、ヴェオリア社は世界最大の水企業、売上規模で5〜6兆円の企業となる。

具体的な動きを見てみよう。フランス企業ヴェオリア・エンバイロンメントは昨年10月末、同国のスエズ・グループを13億ユーロ(約1兆3900億円)で公開買付けによる完全買収すると宣言した。そう宣言する前すでにその第一歩としてフランスの多国籍電力会社エンジュー社からスエズ株式29.9%を34億ユーロ(約4182億円)で昨年10月15日に取得している。

敵対買収を主導するヴェオリアのアントワーヌ・フレロ会長兼CEOは声明の中で「天然資源

の枯渇と気候変動の状態を考えると水環境改善の

緊急性は、これまで以上に強くなっている。我々の動き(世界的なチャンピオンを目指す)は世論欧州グリーンディールさらには多くの国から必要とされている、さらにスエズとヴェオリアの非常に堅実なスキルを組み合わせることで、世界的な競争激化に直面しても合併により新事業の開発を大幅に加速し、フランス、欧州、世界が抱える

21世紀の環境課題解決に対応できる」、また新たに台頭してきている「中国水企業とも戦う必要がある」とも述べている。

三大水メジャー(ヴェオリア、スエズ、テムズウォーター)は世界の上水道民営化市場の7割から8割を握っていた。しかしテムズウォーター

が脱落し、現在はヴェオリア・スエズの2強状態になっている。ヴェオリア、スエズは、共に世界

『世界最大の水ビジネス企業誕生か、』

仏ヴェオリア社、スエズを敵対買収攻勢(上)

表 数値でみる両社の概要

項目	ヴェオリア	スエズ
主たる事業分野	水、廃棄物、エネルギー	水道、電力、ガス事業
水道/下水道サービス	9800万人/6700万人	1億4500万人/
従業員	18万人	8万9千人
売上高	270億ユーロ (3兆3210億円)	180億ユーロ (2兆2140億円)
利益	40億ユーロ(4920億円)	30億ユーロ(3690億円)

有数の水処理・多国籍企業であり、160年以上もライバルとして戦ってきた。彼らの歴史を概略すれば次のとおりになる。

●ヴェオリア

1853年、ナポレオン3世の勅命により、市民への安全な水を届けるために設立された「ジェネラル・デゾー社」が前身で、1967年リヨン水道の主要株主になり、当時の水処理エンジニアリング会社「デグレモン」を買収し世界的に水事業を、その他、ガス事業、電力事業を展開している。08年にフランスガスコ社(GD&F)と合併してGDFスエズ(現エンジュー)となった

玉環の下水道の維持管理をはじめ、多くの国内水インフラ事業を手掛けている。ヴェオリア・ジャパン・グループの従業員は約3500人(検針員、パートタイムを含む)、総人員は約千人である(19年12月末現在)。

ク)から水部門を約34億ドル(約3700億円)で買収、水ビジネス業界で世界トップの座を目指している。日本での話題は、18年12月、上下水道コンセッション事業に参画するために前田建設工業と覚書を結んだ。

件には関わらない原則でビジネスを拡大させてきた。従ってこの提案は受け入れられない」と表明したが、別の大きな政治力が働いたのではないかと噂されている。さらに10月9日、パリの裁判所はスエズ・グループの社会経済委員会(CSE)の要請に基づき、ヴェオリアによる株式買収を一時停止する命令を出している。パリ司法裁判所の動きは次のとおりだ。

●スエズ

1858年フェルナンド・ド・レセップスが設立したスエズ運河会社から前身で、1967年リヨン水道の主要株主になり、当時の水処理エンジニアリング会社「デグレモン」を買収し世界的に水事業を、その他、ガス事業、電力事業を展開している。08年にフランスガスコ社(GD&F)と合併してGDFスエズ(現エンジュー)となった

スエズは最高責任者ベルトラン・カミュは「ヴェオリアの提案はスエズの解体であり、フランスにとって悲惨な結果をもたらさう」と、さらには「スエズはヴェオリアとまったく結婚する必要はない」とフランスの日報紙ル・フィガロ紙に語っている。

スエズは敵対買収への対抗策として、①フランスの水事業をオランダの財団へ移す対抗策を発表、また②フランスの民間投資会社アルディアン(1千億ドルの資産を保有する世界有数の民間投資会社)の創設者ドミニク・セネキエ氏に直接掛け合い、ヴェオリア提案の1株当たり18ユーロより高い18.50ユーロの価格を約束させたが、20年10月5日に突然、アルディアンは撤退表明。ホワイトナイト(白い騎士)は消え去った。

11月25日、パリ司法裁判所が任命した捜査責任者は、ヴェオリア、エンジュー(スエズの29.9%の株式を売却した)、メリディアン(投資ファンド)の3社に質問書を送り「コンピュータを通じて交わされた買収に関連する文書(通信記録)の提出を求めた。スエズ側の弁護士は、ヴェオリアがエンジューの株式を買収する意向を発表する1カ月前の早い時期に、ヴェオリアがエンジューと買収入札額を密かに調整した証拠を明らかにすることを望んでいる。これは「いくつかの法的手続き」違反につながる可能性がある」と指摘している。今回の捜査で収集された情報は、ナンテール商業裁判所に送られ審議されることになっている。

最近の話題は17年にGE(ゼネラル・エレクトリック)は消え去った。撤退理由は「アルディアンは、敵対的な買収案

を切り離し現在のスエズが水ビジネスを担っている。スエズは水道事業では世界1億4500万人に配水する世界的なリーダーである。